

ウクライナ募金活動

ボラセンタイムズ

6月号



五月二十三日～六月二日に学生中心に行われたウクライナ募金活動について副責任者さんに取材しました。

募金活動を始めたきっかけは？

ウクライナの深刻な状況を鑑みて、人道支援をすることを目的として本企画を行いました。現在ウクライナではロシア軍による侵攻が続いており、それにより、数万人の人がウクライナ国内外に避難を強いられる事態となっています。そのため、避難を余儀なくされた人々には十分な支援が必要です。そのため、支援の一環として募金活動に取り組みました。この企画に参加することにより、本学の学生や教職員がウクライナの人道危機に対して関心を持ち、具体的に行動を起こす機会となれば良いと考えています。さらに、ウクライナ情勢にとどまらず、深刻な国際問題を考えるきっかけになればと考えています。

活動してみた感想は？

私達は、五回の募金活動を龍谷大学各キャンパスで行ったのですが、想像していたよりも多くの募金が集まったなという印象があります。多くの学生がウクライナの問題に関する興味を持っているのだと実感しました。

活動をする中で、何か学んだことはありますか？

私達で活動を企画し実行する中で、頑張れば周囲がサポートしてくれることを実感できました。私は、龍谷大学の各キャンパスで募金活動を行いました。すると、その頑張りに共感して頂いた、フードバンク滋賀さんから飲み物の提供を頂きました。私達、学生が行う活動であっても、フードバンク滋賀さんのように見ていてくれる人や団体があると学びました。

(インタビュー：影裡天音さん)

募金活動は深草・瀬田・大宮の3キャンパスで行われた。
◀(右から深草、瀬田、大宮キャンパス)



新スタッフに 直撃インタビュー！！

西林勇貴さん 政策学部1回生

Q.趣味は？

A. 映画が好きです！それと、元バド部だったのでバドミントンです！

Q.ボランティア経験は？

A. ありません。

Q.学スタになったきっかけは？

A.新歓でチラシを見て、ボランティアに興味があったので学スタになろうと思いました！

Q.学スタになって何をしたい？

A.国際系や環境に関してのボランティアに興味があるので積極的に参加したいです！

Q.ボラセンの雰囲気は？

A.みんな優しいので、居心地が良いです！



鄭叡智さん 国際学部3回生

Q.ボランティア経験は？

A.フィリピンにいて韓国とフィリピンのハーフの親子の支援をしたことがあります！

Q.将来の展望はありますか？

A.NPOやNGO関係の仕事に就きたいと考えています！

Q.学スタになった理由は？

A.将来、NPOやNGO関係の仕事に就きたいと考えているので、NPOの団体であるボラセンの学スタになり、学ぼうと思ったからです！

Q.どういうボランティアに興味がある？

A.子供系、国際系に興味があります！

Q.韓国出身だそうです、どうやって日本語を勉強した？

A.ドラマで勉強しました！特に好きなドラマは「ごくせん」です！

Q.ボラセン雰囲気はどうですか？

A.最初は緊張したけど、優しく、温かい雰囲気になじみやすいです！



中島啓さん 法学部1回生

Q.ボランティア経験は？

A.高校の時、一度だけショッピングモールでチラシ配りをしたことがあります。

Q.学スタになったきっかけは？

A.ボランティアに興味があり、ボラセンのホームページを見たりしていました。そして実際に新歓ガイダンスで説明を聞いてみると自分も学生スタッフになりたいと思いました。

Q.学スタになって何をしたい？

A.子ども青少年系と環境系のボランティアに行ってみたいです。

Q.ボラセンの雰囲気はどう？

A.以前は、ボランティア活動に参加するイメージでした。しかし、学スタになってみて、ミーティングや学生の企画、センターの各事業に参加してみて、すごくいいなと思っています。

Q.学スタの仕事はどうですか？

A.ただボランティアに行くだけではなくて、ボランティアの紹介や企画など大学内にボランティアを広げることができるのでやりがいがあると思います。



ボランティア・NPO活動センターは
常時学生スタッフ募集中！